

【図画工作・小6・光と影の世界へようこそ】①

育成を目指す資質・能力

光と影、材料、用具との組み合わせを試行錯誤して作りたい空間のイメージをもつ。

学習過程

【である】

光源や身近な材料、用具を使ってできる光と影の造形的な面白さや美しさに気付く。

光と影、材料、用具との組み合わせを試行錯誤して表現することによって、作りたい空間のイメージをもつ。

【追求する】

- 光や影、材料、用具との組み合わせを試行錯誤し、作りたい空間のイメージを広げる。
- 互いの記録を共有することによって、光の当て方や材料、用具の組み合わせ方のよさに気付き、光と影の効果を考えて次時に活かす。

【まとめる】

様々な場所で表現された光や影の美しさや変化の面白さの様子を味わい、思ったことや感じたことを共有する。

ICT活用のポイント

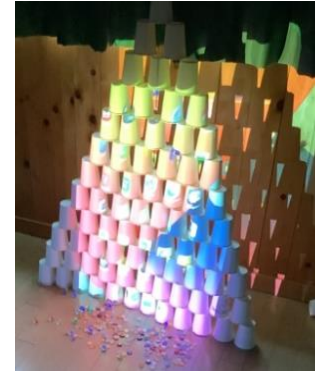
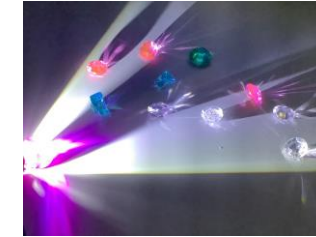
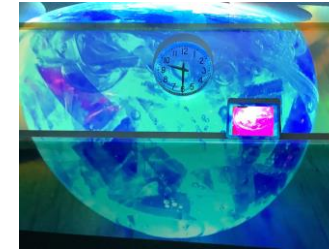
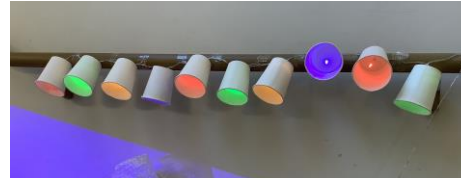
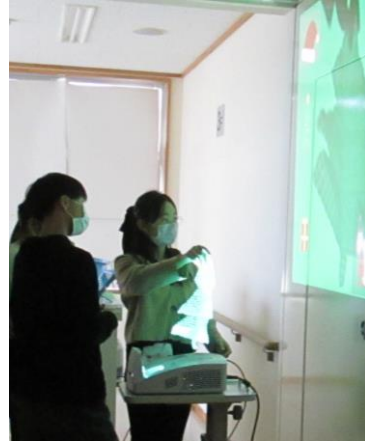
- プログラミングソフトでつくった動きのある模様を投影したり、材料や用具でできる影を生かしたりして、空間づくりを試行錯誤する。
- 活動の様子を撮影した写真や動画を活用して活動を共有することで、新たな発想に気付いたり、イメージを広げたりできるようにする。

事例の概要

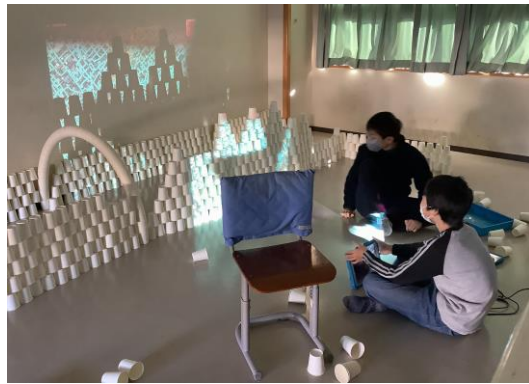
- 「である」「追求する」「まとめる」のそれぞれの過程で主体的・対話的で深い学びが実現するように、ICT端末の効果的な活用を目指す。
- 【事例におけるICT活用の場面①】
 - 光と影、材料、用具との組み合わせを試行錯誤し、変化した様子を確認したり、思いついたイメージをメモしたりして、イメージを広げるきっかけにする。
- 【事例におけるICT活用の場面②】
 - 活動の様子を撮影した写真や動画を活用して、動く光や様々な材料を組み合わせた活動を共有し、新たな発想に気付いたり、イメージを広げたりできるようにする。
 - 活動場所ごとにイメージを共有することで、互いのよさや違いを楽しんだり、友達の視点に気付いたりできるようにする。

【図画工作・小6・光と影の世界へようこそ】②

【事例におけるICT活用の場面①】



【事例におけるICT活用の場面②】



活用場面①

- 懐中電灯を近づけたり離したりすると光の映り方が変わるよ。
- どこから光を当てたらいいかな。
- 壁のどこに映そうかな。

活用場面②

- 海のイメージにするには、あと何が必要かな。
- 紙コップをたくさん並べて光を当てたら城みたいになったぞ。

- 写真や動画で活動を確認することで、新たな発想を広げたりイメージを追求したりできた。
- タブレットで撮影した写真や動画を共有することによって、それぞれのグループの光源や材料、用具の使い方についてのよさや工夫、面白さに気付くことができ、グループの活動を広げることができた。
- 最後に全校に公開することで、いろいろな人の見る視点にも気付くことができた。

【活用したソフトや機能】

- ・授業支援ソフト
- ・写真・動画撮影